諸藝評判

金之揮

全

は
72

国立国会図書館　タイトル『金之揮』 請求記号 は-72

ガラス使用

金之揮

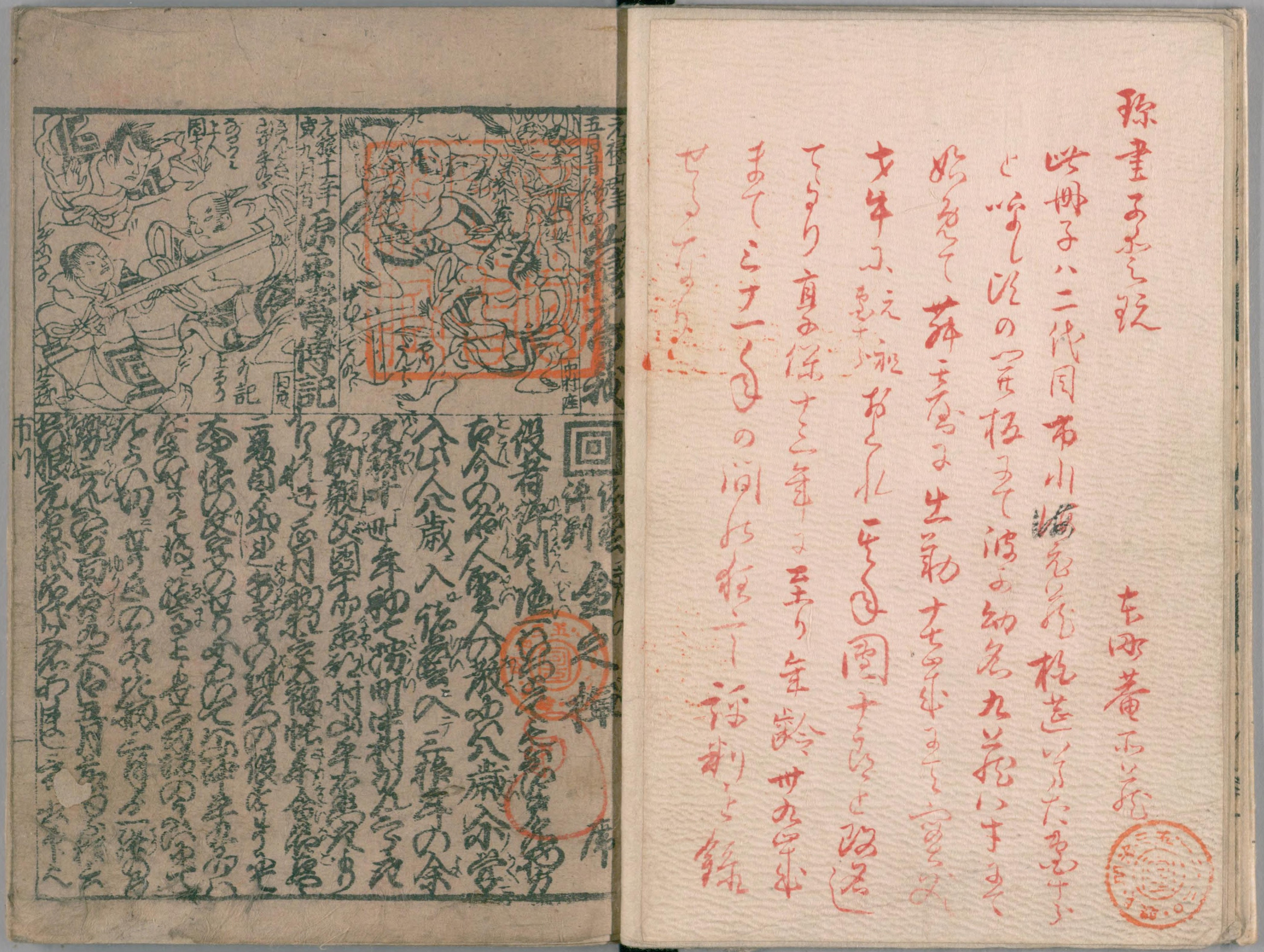
近藤清春筆

特別
は
72

国立国会図書館　タイトル『金之揮』　請求記号 は-72

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『金之揮』 請求記号 は-72
ガラス使用



孫重五郎

此冊子ハ二代目市川海老蔵ト
ト呼シ頃の一座相模ヶ浦ヶ幼名九蔵いまを
始めて芸者ヶ生涯ハ十七年ヶ
十年ヶ元禄十年ヶ
てらり百ヶ保十三年ヶ五ヶ年齢世ヶ年ヶ
まてらナ一ヶの間ヶ
せるてすなり

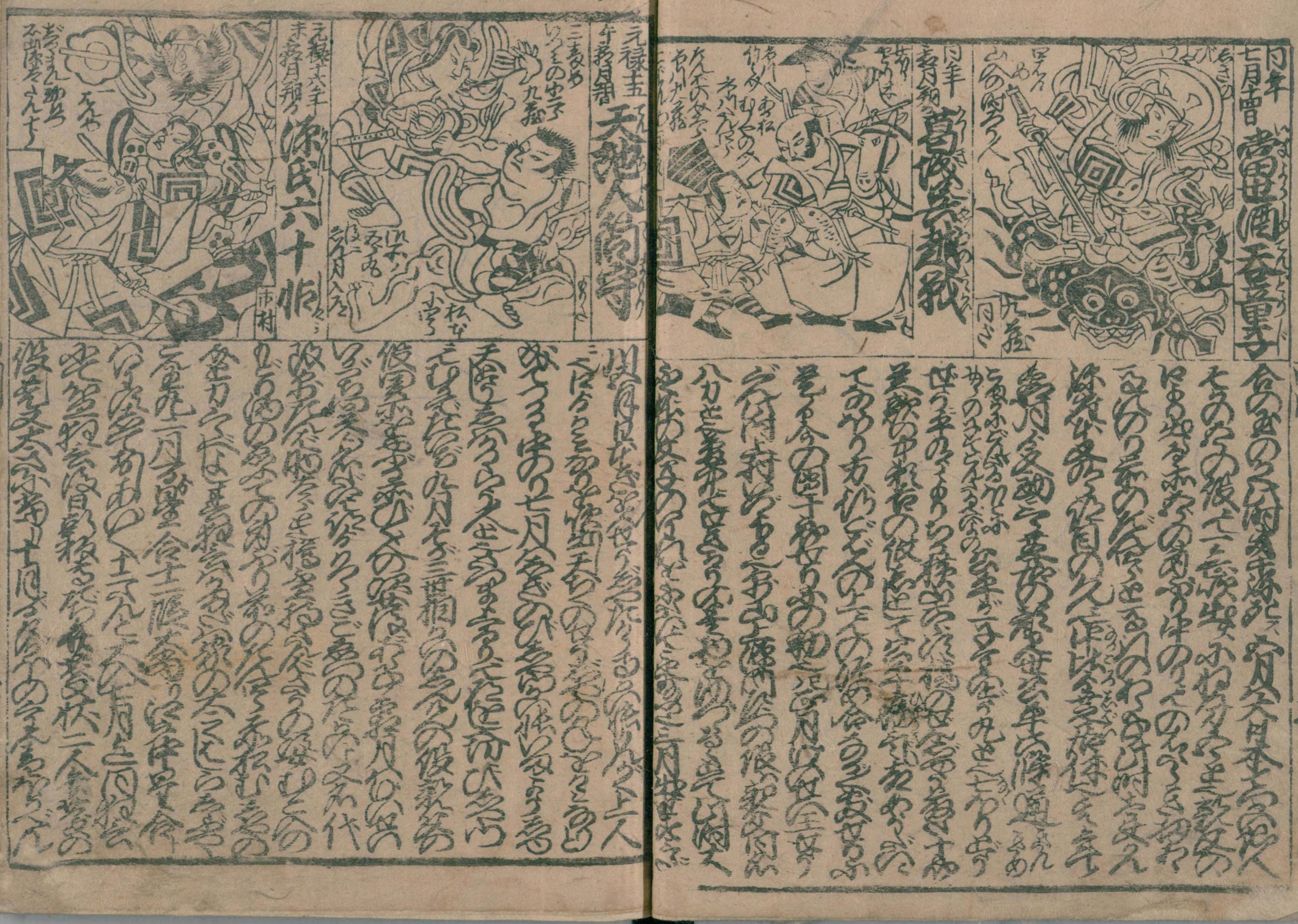
市川海老蔵元祿十年ヶ
五月吉日ヶ
元禄十年
寅九月吉日
原本書時記

国立国会図書館　タイトル『金之揮』　請求記号 は-72

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『金之揮』　請求記号 は-72

ガラス使用


丙午
七月吉曽
丙午
寿命
元禄十五
午年七月吉日
天満人間寺
元禄十六年
未年七月吉日
源氏六十帖
市村

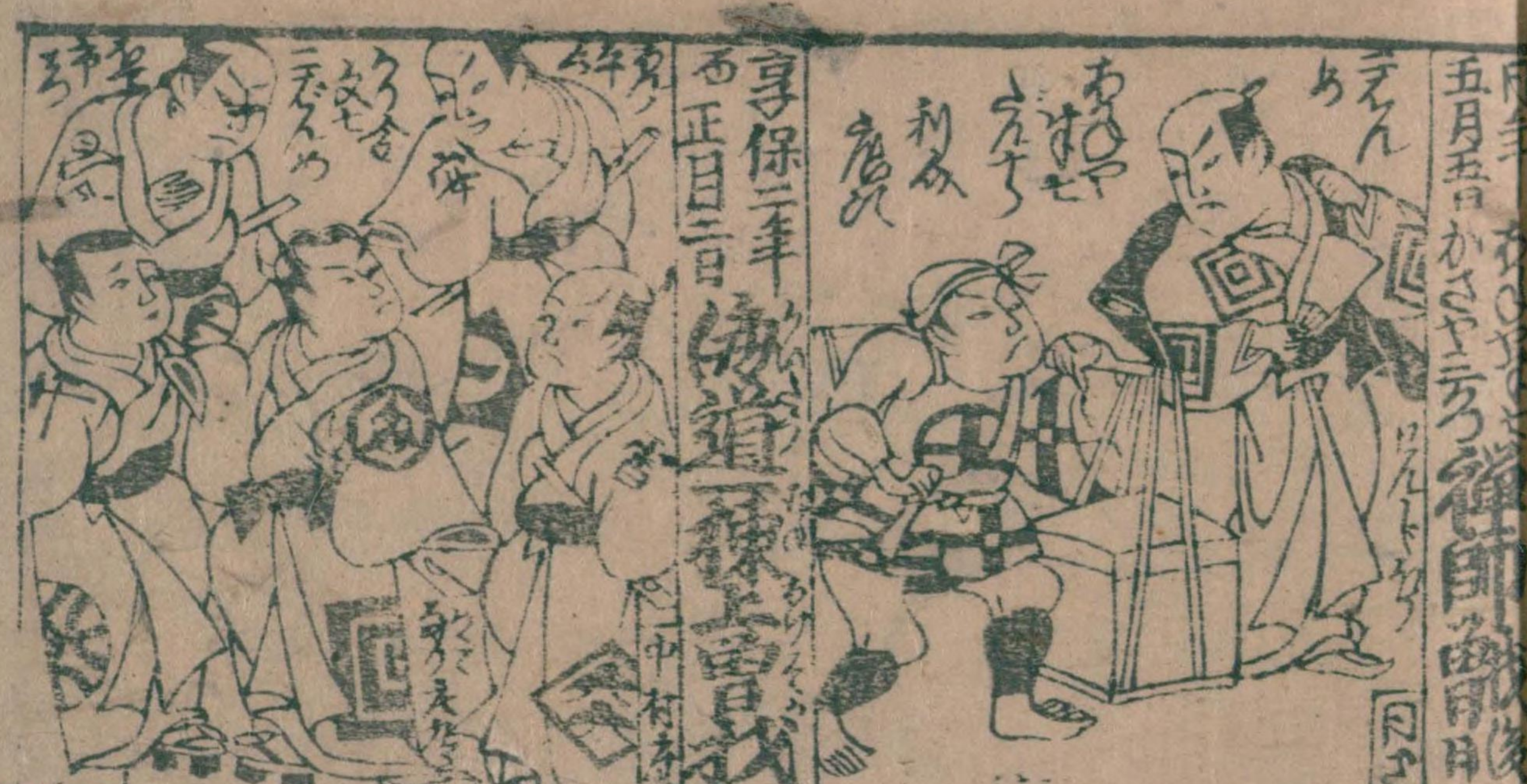
信徳丸又[illegible]天地人當年[illegible]
[illegible]の[illegible]の役二[illegible]
[illegible]
[illegible]年
[illegible]十二月[illegible]
[illegible]二月[illegible]
[illegible]七月[illegible]成田山[illegible]
不動[illegible]の役[illegible]二十[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
見世[illegible]中村七三郎[illegible]十日より
[illegible]申の年二月十二日[illegible]
[illegible]十二[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
年[illegible]宝永[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

是より此廿八年七月盆狂言は世つぎ姫の御[illegible]
[illegible]の役にさうの[illegible]
[illegible]のふ太夫[illegible]より[illegible]
[illegible]二拝や[illegible]
[illegible]
[illegible]
八年[illegible]月[illegible]四月五日今
[illegible]

[illegible]
七月より[illegible]
[illegible]
年山村[illegible]十二月[illegible]
[illegible]七月[illegible]
[illegible]

同年
九月廿日
和合大平記
正徳六年
申ノ正月二日
式例和曽我



同年
五月五日
享保二年
酉ノ正月二日

[illegible]

同年
十月晴　國性爺寶船

同年
九月九日　重陽ノ賀ノ図

同年ノ天地人三才
春日祈願奉納太平記

享保三年
戊正月吉　若緑千年長

国立国会図書館　タイトル『金之揮』　請求記号 は-72
ガラス使用

享保二年
戊申月相日

嫁御豆日記

享保四年
己亥正月二日

宮中禮式曽我

同年
後天王寺
四月相月
吉日

鼻柱意地中

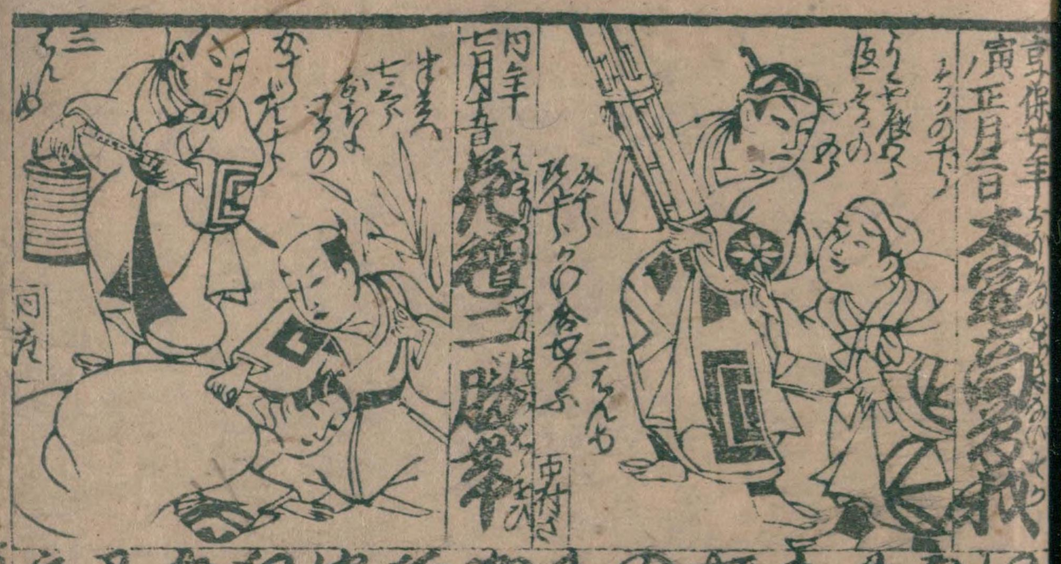
同年
九月吉日

新里金札祝儀

享保五年子正月吉日 櫻根元寶

享保六年丑正月吉日 大寶の張家紙

享保七年寅正月吉日 大寶の張家紙

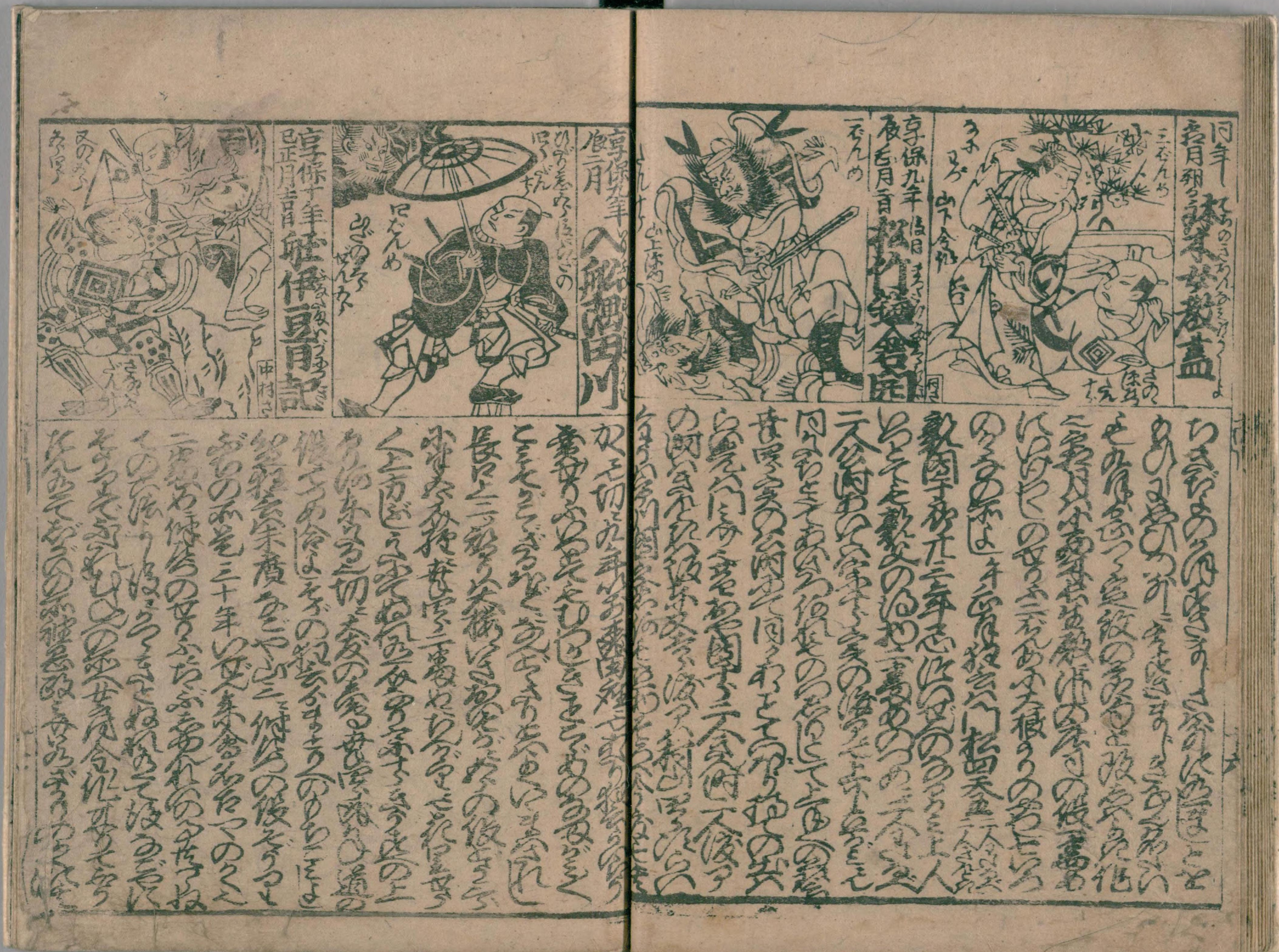


国立国会図書館　タイトル『金之揮』　請求記号 は-72
ガラス使用

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『金之揮』　請求記号　は-72

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『金之揮』 請求記号 は-72　ガラス使用

同年五月五日 集盛忠信

同年九月九日 正行正成関

同年十月十日 小栗長生殿

寛保二年十正月二日 門松四天王

国立国会図書館　タイトル『金之揮』　請求記号 は-72　ガラス使用

同年 五月五日 大織冠

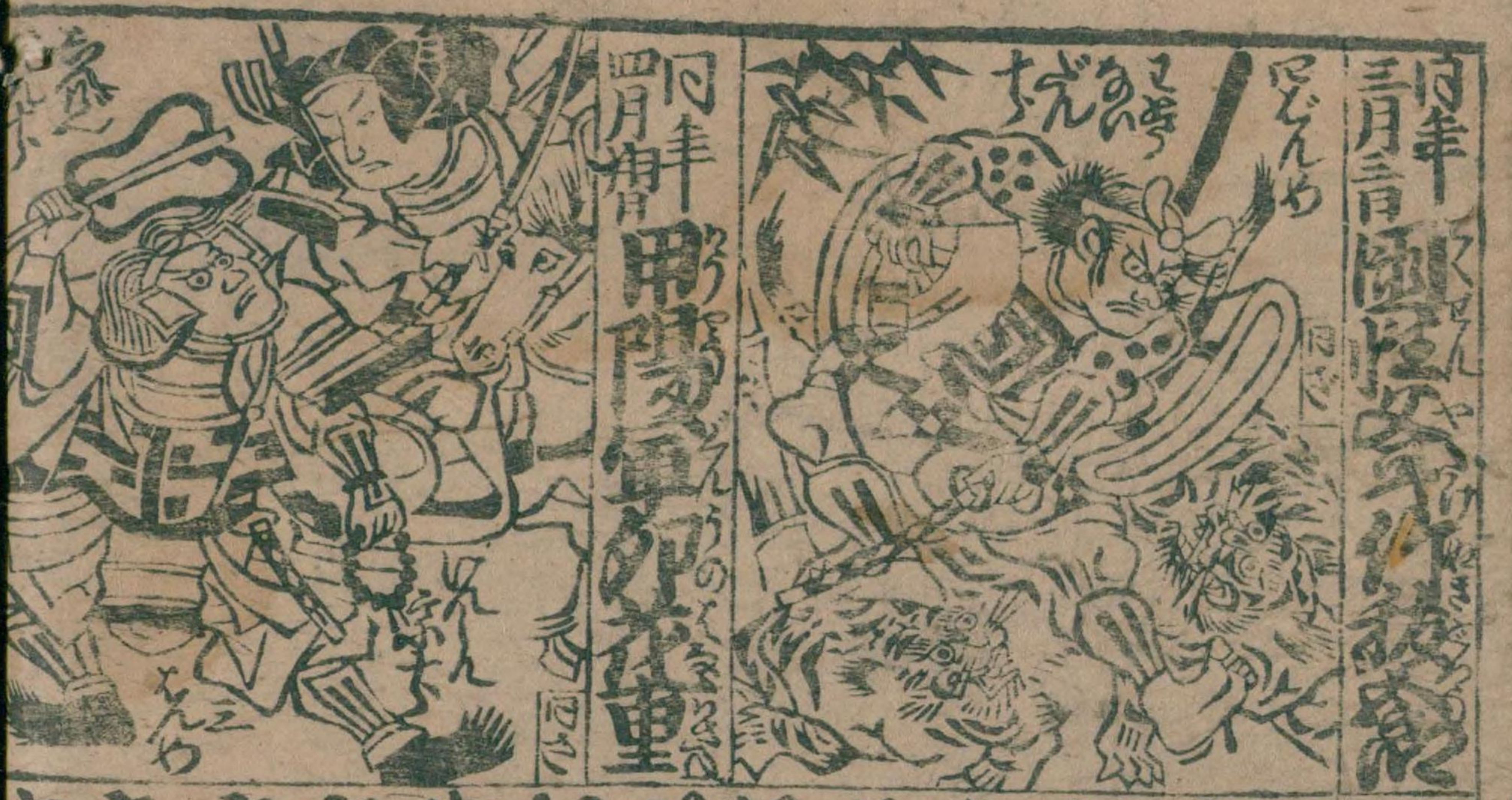
同年 七月十五日 末廣名護屋

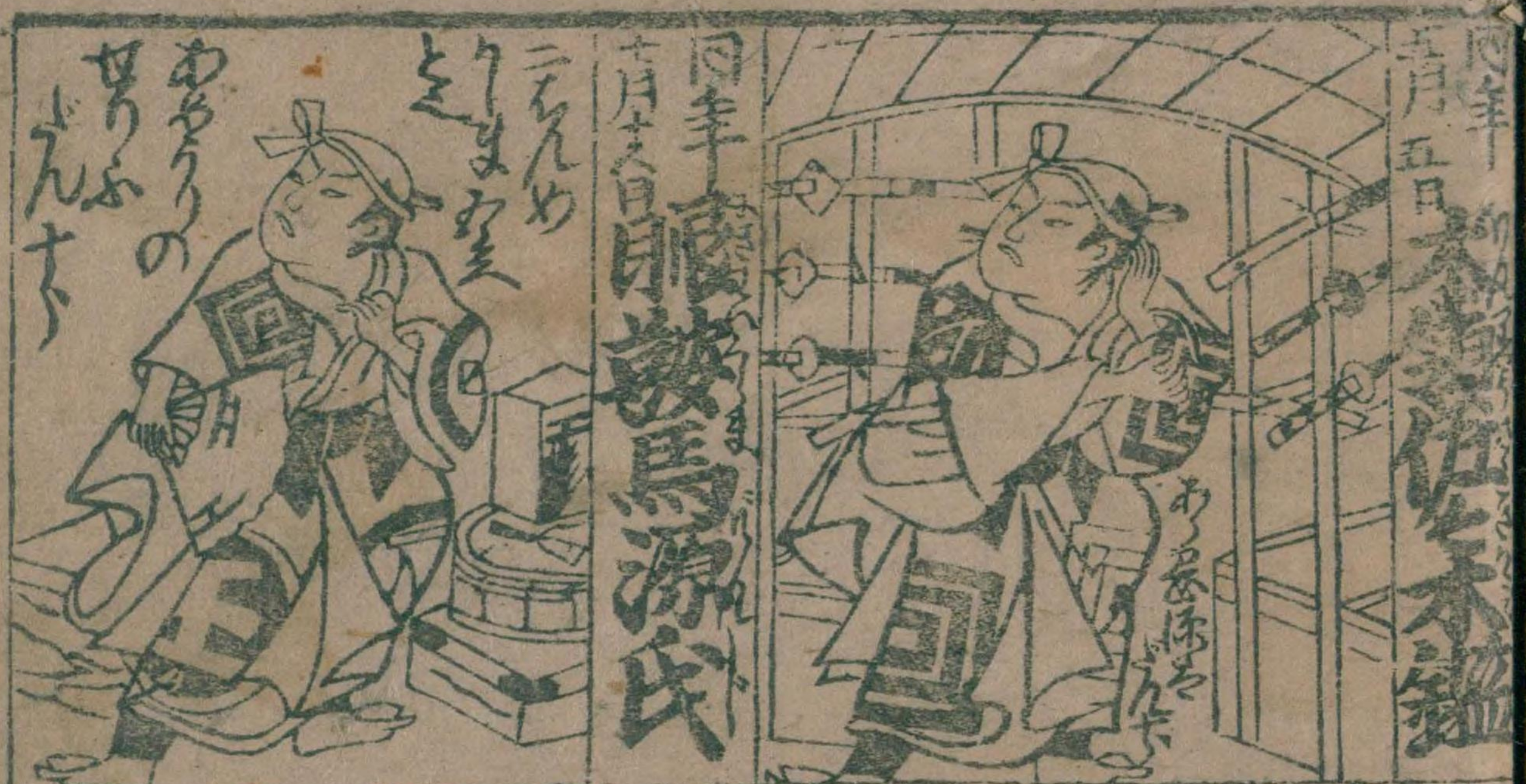
みの狂言わる者源氏の役にてせうぶなされ今度
其その外のせりふは七月の末までつゞきし源氏
あま事也大きに當りて其外も大ひにあたり
かうもち身のまゝ文をゝ渡の傍に坊主の宮役
せ奈役者の事を村井にて次の事の大役を
と成其後は又舞へ行その後は上方へ
相勤其後へ末狂言の名に右の太平記
拍子の役一子に一つゞれ子息弥市
それゆへ名を遠の旅つゞき又乃ふ是よからびよ
ひを後ゆ女役にて名の上京させらべ村
一家の評判狂言より末々尾を
おれの末数子その狂言に太夫花
養わ名の上にて姓ぞ又一ひとつ
て兼々出られ一番めの二つの末の名大

同年 霜月朔日 顔見世十二段

享保十二年 未正月二日 [illegible]

よりの是全部の大當りの名ひ所在
てきぬよ其座をゝの名をしの名ぞを
わて其後人座で妓の名も又人形より人
父又か狂言に出られて其は三十一年之今まで
拝み七十の末もりの名をゆ役者の
張氣を名をひてわか名の字ゝ女からは
うぶる三代目の役をゝにて正の字こく
名人の名をゆるりのう〳〵 近付張ゆの
花そのわけ数の名を世上にわけ七文の字を
女形く世をとりとむ中もちて名氣あひ
はでよくかめとをも名をれをひんかの名
ゟを女数のだん十郎かゝの之段にて
前き末其名三つ方し役者かの付名の
狂言の其名を役を付そゝ名の女の役を





おりて三枡を定紋と成之紋ハ死ニ二代紋實ハ
つゝみゆづりるゝ也 今の三枡の紋にて
中店〈のめ〉ざさゝを一ツ
かくゆへ三升にせられしニ三枡と云
それゆへ三枡と付り
みのふとろ寿の字をも
なれどもふとまで安時より紋を
川にて付ると市川家の紋の字
さうたる代の
家をつぎ
市川團之丞
市川新之助
市川海老蔵

市川だん蔵
市川升五郎
市川團三郎
市川團五郎
市川新之助
今の國五郎の名字をゆづれ
市川海老蔵
市川高麗蔵
市川團五郎
市川團蔵

国立国会図書館　タイトル『金之揮』　請求記号　は-72

ガラス使用

同年
七ツ
男智屏風

繪大和記

[illegible]

享保十三巳申歳正月吉日

通油町 奥村屋[illegible]

は
72
特別

国立国会図書館　タイトル『金之揮』　請求記号 は-72
ガラス使用

は
72

国立国会図書館　タイトル『金之揮』　請求記号 は-72
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『金之揮』　請求記号 は-72
ガラス使用